

LPI. 1 .Linuxの基本

●ディレクトリ構造

Linuxの主要なディレクトリ

/ ルートディレクトリ	+----boot	Linux起動時に必要なファイルを保存
	+----root	rootユーザのホームディレクトリ
	+----home	user1のホームディレクトリ (ログイン直後のカレントディレクトリ)
	+ user1	user2のホームディレクトリ (ログイン直後のカレントディレクトリ)
	+----etc	Linuxの設定ファイルを保存
	+----bin	システムのメンテナンスに必要な最低限のコマンド群
	+----sbin	おもにシステム管理者が使うメンテナンス用コマンド群
	+----user	その他各種プログラムなどのコマンド群
	+ bin	その他管理者用のコマンド群
	+ sbin	
	+----dev	デバイスファイル
	+----lib	共有ライブラリファイル
	+----var	可変的なデータ (ログ・データベース・Webサイト等)
	+----tmp	各種アプリケーションの一時ファイルで定期的に削除される
	

●シェルとコマンド (どのような形式でコンピュータに指示を行うか)

シェルインターフェースを使ってLinuxカーネルと会話する

(シェルはコマンドの受付プログラム)

ssh接続クライアント → sshd (サーバ) → bash → コマンド入力 → システムコール → カーネル

基本シェル : Bourneシェル,Bシェル,sh (/bin/sh)

→ 拡張シェル : bash (/bin/bash)

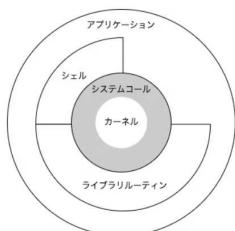


図1.1 : Unixオペレーティングシステムのアーキテクチャ
「詳解 UNIX プログラミング」より引用

●コマンドはシェルにより構文チェックが行われる

オプションと引数はスペースによって区切られる

(スペースの位置が正しく入力されないと構文チェックに引っかかる)

\$: コマンドの権限の表示 \$ =一般ユーザ権限 # =管理者権限